



# 福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和6年3月4日 NO. 12

042-541-2940

創立44年目(昭和55年開校)

## 今年度のしめくくり

校長 前川 法彦

3学期は過ぎていく学期で、もう3月になってしまいました。今年度しめくくりとして、皆さんはどのような目標をもっているでしょうか。

日本語の中に、「残り姿」という言葉があります。「終わったあとの姿」「その場からいなくなったあとの姿」を感じることをいいます。つまり、「その場にいた人々の心が想像できる気持ちのよい姿」として使われます。近年の有名な話では、サッカー日本代表が利用したロッカールームが試合後とてもきれいな状態であったことや応援していた日本の席の観客がゴミを拾うなどの清掃活動をしていたことなどです。学校では、皆さんが帰った教室や下駄箱で感じることができます。窓が閉まり、机や椅子が揃い、黒板がきれいに清掃され、下駄箱の上履きがきちんと並んでいるなどがあります。

3月は卒業式や修了式が終わった後には、とても大切な残り姿があります。掲示物が外されて、ロッカーに荷物もなく、机と椅子だけになった教室ですが、1年間共に学び、友達と会話したことや給食の時間などの生活した場所です。さらに大きなものとして、卒業して10年後、20年後に学校を訪れたとき、多くのことを「思い出」として感じるがあります。皆さん一人一人の毎日の生活が積み重なって、学校の「校風」になり「伝統」となっていくのです。

1年間の締めくくりの時期になりました。

皆さんは、どのように「残り姿」を残すことができるでしょうか。

それぞれが自分で考え行動してほしいと思います。

保護者・地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございました。来年度、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

